平成25年11月の「優しさ通信」

足の小さな異変 軽くみないで

- 糖尿病や透析患者 最悪切断も

早期発見・治療へ専門医連携

足の血流が悪化する末梢動脈疾患(PAD)や、さらに重症化した重症 下肢虚血(CLI)は、足の組織が壊死して切断に至る危険が高まります。

国内では人口の高齢化や糖尿病、人工透析患者の増加でこうした足病変の患者が増えており、PADは約330万人、CLIは約18万人との推計もあります。

形成外科、循環器科、血管外科など異なる専門領域の意思の連携が不可欠で、各地でネットワークが動き始めました。

- **※足の健康のセルフチェック項目**:・しびれや冷感がある・冷えは朝晩に特に強い
- ・痛みで長く歩けない ・足の皮膚の色が変わってきた
- ・風呂上りでも足首から下が青白い ・小さな傷でもなかなか治らない (2013年10月3日 日本経済新聞記事から抜粋)

介護費用 総額に上限 - 厚労省案

軽度対象、15年度から 10年後に2000億円抑制

厚生労働省は、介護保険サービスの費用の伸びを抑制する仕組みを導入 します。

症状が軽い人向け(要支援者現在約150万人)5年度から年間の事業費に 上限を設け、75歳以上の高齢者人口の増加率並みの年3~4%に伸びを抑え ます。2025年度には2000億円の抑制効果が見込まれます。

(2013年10月11日 日本経済新聞記事から抜粋)

バリアフリー地図作成 - パノラマ写真蓄積→危険箇所を表示

システム開発ベンチャーのグローバルITネットは、パノラマ写真を活 用したバリアフリー地図の作成事業を始めます。

スマートフォンのカメラを使い、学生や住民らが駅周辺の道路状況を撮影。 車いすの障がい者や高齢者が通行するうえで、危険な場所や安全な場所を示し たデジタル地図を作成します。3年後に関西の鉄道全駅(約1000駅)への普及 を目指します。

(2013年10月16日 日本経済新聞記事から抜粋)

交付金活用、地域密着型の介護施設 利用率50%未満8割 検査院改善求める

厚生労働省の交付金を使って整備された地域密着型の介護サービス施設 の内、25都道府県の326施設の利用状況を会計検査院が調べたところ、8 割で利用率が50%を下回っていたことがわかりました。

(2013年10月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

介護保険、高所得者の負担増「賛成」73%

「税・保険料引き上げ」も5割

Q.「所得の高い人の負担を1割から2割に」の引き上げ案に

賛成32.4%

どちらかといえば賛成40.4%

どちらかといえば反対18.2% 反対9.0%

Q. その理由は・・・(複数回答)

賛成理由: 高所得者の人は受け入れるべき 約80%

現役世代の負担が増えるのは不公平 約40%

反対理由: 介護は長く続く 約50%

> 現役時代より収入が減る 約35%

(2013年10月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

あなたに価値あるホームページを yamachuwood.com 山忠木材株式会社 大阪市大正区千島3-18-9 TEL06-6552-0781

テーマは 「優しさ」 住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3 ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

介護費 高所得者は倍増? - 年金280万円目途検討



高齢であっても収入が多い人には今よりもさらに負担してもらう。

政府はこんな方向で介護保険制度の改革議論を進めています。限られた富裕 層だけに関係する話ではありません。

- ※ 介護保険改革案の主な項目
 - ・一定以上の所得のある人の利用者負担を1割から2割に引き上げ。
 - ・一定以上の所得のある世帯の月当たり負担限度額を引き上げ。
 - ・軽度者の介護サービスを全国統一サービスから市町村の独自サービスに移 行。
 - ・特別養護老人ホームへの入居者を中重度者に限定。
 - ・特別養護老人ホームの入居者への補助を厳格化。
 - ・低所得者の介護保険料を軽減。

(2013年10月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

